

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : クラス・ワン
コード : Sea
会社名 : 伸栄産業株式会社
住所 : 〒574-0057 大阪府大東市新田西町1番10号
電話番号 : 072-806-7800
FAX番号 : 072-806-7801
電子メール : info@s-shin-ei.co.jp

推奨用途及び : 油脂成分の除去、カーボン系汚れの除去、その他汚れの除去など
使用上の制限

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性 :

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	対象外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	対象外
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	区分1

環境に対する有害性 :

水生環境有害性・急性	区分外
水生環境有害性・慢性	区分外

オゾン層への有害性

分類できない

ラベル要素



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激
重篤な眼の損傷
遺伝性疾患のおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き

[予防策]
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護メガネを着用すること。

[対応]
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ただちに医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当を受けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。

[保管]
施錠して保管すること。

[廃棄]
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : クラス・ワン Sea
成分 : 界面活性剤（非イオン系）

ノルマルパラフィン

4. 応急措置

- 吸引した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い落とす。症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗浄した後、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。
被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は可能な限り適切な保護具（保護手袋・保護メガネ）を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、炭酸ガス、水噴霧
- 特定の消火方法 : 本製品は不燃物であるが、周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。移動ができない場合は、風上より周辺設備等に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には、適切な保護具（保護手袋、保護メガネ等）を着用し、煙やガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業には必ず保護具（保護手袋、保護メガネ等）を着用する。
多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を雨水溝、河川、海上等に排出されないように注意する。
- 除去方法 : スクイージー等を用いて、できる限り空容器等に回収する。
回収しきれないものは、多量の水で十分に洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
取扱いは換気の良い場所で行なう。
発散した蒸気を吸い込まないようにする。
取扱いの都度、容器を密栓する。
他の薬剤・洗浄剤等とは絶対に混ぜない。
用途以外に使用しない。
- 安全取扱注意事項 : 洗浄作業や洗浄剤容器の取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護メガネ等)を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
みだりにエアロゾル、ミストが発生しないように取扱う。
- 保管
- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、通気の良い冷暗所に保管する。
子供の手の届かないところに保管する。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸器用の保護具 : 特に必要としない。
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 保護メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : ゴム長靴、保護衣
- 適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态
- 形状 : 液体
- 色 : 淡白色透明
- 臭い : 軽微な特異臭
- pH : 約 7.0 (25℃)
- 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
- 融点 : データなし (<0℃)
- 沸点 : データなし (>100℃)
- 流動点 : データなし

分解温度	: データなし
引火点	: 78°C
発火点	: 不燃性液体
爆発特性	
爆発限界	: 不燃性液体
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 0.8088 (15/4°C)
粘度	: 6.42 mm ² /s (30°C)
溶解性	
水溶解性	: 水に易溶
溶媒溶解性	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用条件で安定
反応性	: 自己反応性なし
避けるべき条件	: 情報なし
避けるべき材料	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし
その他	: 情報なし

11. 有害性情報

界面活性剤 非イオン性

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼刺激性	: 軽度の刺激 区分B
感作性	: データなし
慢性毒性	: データなし
長期毒性	: データなし
変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

ノルマルパラフィン

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし

眼刺激性	: データなし
感作性	: データなし
慢性毒性	: データなし
長期毒性	: データなし
変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: 飲み込んで軌道に侵入すると生命に危険の恐れ

区分 1

1 2. 環境影響情報

土壤中の移動性	: 情報なし
残留性／分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
生態毒性	: 魚毒性: LC50 38,000ppm (ヒメダカ)
オゾン層への有害性	: なし
残留性／分解性	: 分解性: 微生物により容易に分解する (生分解度 \geq 99.0%)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器・包装の廃棄方法	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制	: 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規制	: 航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 国連分類、国連の分類基準に該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化審法	: 特定化学物質・監視化学物質を含有しない。
消防法	: 該当しない。
安衛法	: 該当しない。
毒劇物法	: 該当しない。
船舶安全法	: 該当しない。
化学物質管理促進法	: 該当しない。
海洋汚染防止法	: 該当しない。

16. その他

引用文献

- ・ GHS 対応ラベルおよび SDS の作成マニュアル

[厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質安全対策室]

- 記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。